

2012年11月

サステイナブル経営診断2012(第11回)

募集要項

特定非営利活動法人 環境経営学会
(Sustainable Management Forum of Japan)
会長 中原 秀樹

私ども環境経営学会は2000年の発足以来現在に至るまで、企業・組織が環境対応や社会対応を十分に果たしながら発展し続けていくために、いかなる課題に取り組まなければならないかについて、日本の第一線の企業・組織と協働して研究してまいりました。

新しい時代は企業・組織の経営が産業革命以来経験したことのないような試練をすべての経営者に課すものです。それは大気や土壌、水の汚染対策に始まり、現在では省エネルギー、地球温暖化、人権、企業倫理などきわめて多岐にわたる新しい課題を抱えているだけでなく、企業・組織は社会環境や地球環境を改善、再生し、持続可能な社会の構築のために相応の貢献を為すことを期待されるに至っております。

このような状況を踏まえ、環境経営学会では、企業・組織の経営や環境問題に関心を寄せる企業人、研究者、専門家など産学一体となって、持続可能な社会の構築に貢献する企業・組織経営のあるべき姿を描き、これに沿った経営行動を詳細に記述し、「環境経営格付」、「サステイナブル経営診断」として、昨年までに通算10回、主要な企業・組織、述べ260社の皆様との協働により経営評価を実施してまいりました。

経営評価項目につきましては、一昨年11月に発行された「ISO26000」のガイドラインを参照して改善を行ったほか、年々厳しさを増す経営環境の動向や学会の研究成果を取り入れ、この度、「サステイナブル経営診断2012」として実施するべく準備を進めております。

特定非営利活動法人である環境経営学会が、研究者、経営者や企業出身者、一般市民などの広い層からなるボランティアを統合してこのような活動をしている例は他にありません。企業・組織の経営に当たられている皆様のご理解とご支援を切に期待する所以であります。

この「サステイナブル経営診断2012」へのご参加企業・組織に提供される学会の知的財産または効用は、参加パターン(下記「3」参照)によって範囲は異なりますが、全体としては次の通りです。

- ① サステイナブル経営診断2012「経営評価調査票」及び「経営評価手引き」
- ② サステイナブル経営研修会への出席
- ③ エビデンス確認・評価のためのヒアリング／経営トップインタビューを通じての情報交換、質疑応答
- ④ 評価項目別評価結果と「サステイナブルマネジメント・ツリー図」及び「総合評価書」
- ⑤ ツリー図の学会公式ホームページへの掲載、環境経営学会研究報告大会での発表、公表
- ⑥ 総合評価で高い水準と評価された企業・組織には、環境経営学会の認証マークのご使用が認められます。

つきましては、環境経営、CSR経営に取り組んでおられる企業・組織の皆様には、本学会の「サステイナブル経営診断2012」にご参加いただき、環境・CSRを核とした経営改善にお役立ていただくようご案内申し上げます。詳細は下記のとおりであります。

記

1. サステイナブル経営診断活動の概要

① 企業・組織説明会 の開催:

「サステイナブル経営診断2012」の狙いと特徴、実施方法、活動スケジュール、費用等の説明(無料)

日時:(第1回) 2012年11月22日(木)13:30~15:30

(第2回) 2012年11月26日(月)13:30~15:30

会場:千代田区立「九段生涯学習館」(千代田区九段南 1-5-10 tel.03-3234-2841)

② 経営研修会の開催:持続可能な社会の構築に貢献するために、企業・組織に求められている環境問題、社会的責任への取組みの方向性、あり方に係わる経営評価システム等について、「経営評価調査表」、「経営評価の手引き」を教材に、経営研修会を開催

③ 経営診断の手順:

- 参加企業・組織は「経営評価調査票」と「手引き」により自己評価し、学会に提出していただく。
- 企業・組織の自己評価結果に対して、経営評価委員が、第三者として公平な立場で、企業・組織を訪問し、実地にヒアリングを行い、エビデンスを確認し、委員評価を実施する。さらに学会幹部による経営トップインタビューを実施、サステイナブル経営理念等を確認し、第1次経営評価を実施する。
- 第1次経営評価結果について、妥当性・公平性・公正性を担保するために、判定委員会で審査して最終評価・診断を決定、「サステイナブルマネジメント・ツリー図」に表現する。
- 「総合評価書」を作成、ツリー図と共に参加企業・組織にご報告する。

④ 結果の公表

経営診断参加企業・組織の取組み状況について広く社会全体に周知するために、原則として公表し、学会ホームページ上にサステイナブルマネジメント・ツリー図を掲載する。

2. 経営診断2012の概略スケジュール(予定)

2012年11月:説明会開催(11月22日(木)午後、11月26日(月)午後 の2回)

12月:経営研修会開催(12月19日(水)東京、12月21日(金)大阪にて予定)

12月:参加パターン(タイプⅠ、Ⅱ、Ⅲ)の決定、参加企業・組織の自己評価開始

2013年1月末:自己評価調査票提出締切

2月~3月:学会の経営評価委員による分析、ヒアリング、経営インタビュー

4月:経営評価委員による経営評価終了、判定委員会始動

4月下旬:経営診断結果の企業・組織への通知/異議申し立てにより提訴委員会始動

4月下旬:経営診断結果確定、3点セット(総合評価書、最終調査票、ツリー図)ご報告

5月:学会年次研究報告大会において結果発表/活動終了

3. 参加パターンと参加費

経営診断活動にともなう、旅費、通信費、印刷費など活動の原資としての次の参加費を申し受けます。

- ・タイプⅠ:経営診断の全項目参加(①経営研修会、②全項目評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング、経営トップインタビュー等、④総合評価書、ツリー図、最終調査票(3点セット)ご報告
:参加費20万円
- ・タイプⅡ:経営診断の部分参加(①経営研修会、②企業・組織の選択する項目の評価/診断、③経営評価委員によるヒアリング実施、④総合評価書、部分ツリー図、最終調査票(3点セット)ご報告
:参加費15万円
- ・タイプⅢ:経営研修会のみ参加(教材として、「経営評価の手引き」等経営診断ツール使用)
:参加費5万円

— 以上 —